

平成30年度 関東甲信越地区母子保健事業研修会 開催要領
研修テーマ 『切れ目ない支援ができる専門職を育てる』

1 目 的

妊娠期から子育て期においては、従来から母子保健と子育て支援の両面から多様な支援が行われ、その充実に努めてきたところであるが、必ずしも、支援側の連携が十分であったとは言えず、また、これらの支援についての情報が地域住民にわかりやすく伝わっておらず、必要な支援が切れ目なく提供できているとは言い難い状況となっていた。

その課題解決のため、母子保健法の改正により、子育て世代包括支援センター（法律における名称は「母子保健包括支援センター」）を市区町村に設置することが努力義務とされ、「ニッポン一億総活躍プラン」において、地域の実情を踏まえながら、平成32年度末までに全国展開することとされた。

子育て世代包括支援センターは全ての妊産婦・乳幼児等を対象とするポピュレーションアプローチを基本とする一方で、特に専門的な支援を必要とするものについては、関係機関との連携による対応が求められる。

核家族化や地域のつながりの希薄化により、妊娠、出産、子育てにおいて、妊産婦や保護者の不安は高まっており、また、近年は虐待など専門的な支援を要するケースも多く、対応に苦慮している現状がある。

本研修会を通じて、母子をしっかりと支えられ、関係機関と連携できる人材の育成を目指し、安心・安全な妊娠、出産の確保と子どもの健やかな成長を図ることを目的とする。

2 日 時 平成30年10月12日（金）午前10時から午後4時
（受付：午前9時30分から）

3 会 場 千葉県生涯学習センター 2F ホール
（千葉市中央区弁天3丁目7番7号）

4 主 催 千葉県 一般社団法人日本家族計画協会

5 後 援 厚生労働省（申請中） 公益社団法人日本助産師会

6 内 容 別紙プログラムのとおり

7 対 象 行政機関・医療機関等において母子保健事業に関わる者等

8 定 員 200名

9 参 加 料 無料

10 申込期限 平成30年9月18日（火）

11 申込方法 下記申込先まで、参加申込書をFAX又はメールにて送付

12 申 込 先 千葉県健康福祉部児童家庭課 母子保健班 担当：保田
（問い合わせ先） 電話：043-223-2332 FAX：043-224-4085
E-mail：katei3@mz.pref.chiba.lg.jp

【平成30年度関東甲信越地区母子保健事業研修会プログラム】

9:30～10:00	受付
10:00～10:10	開会・あいさつ
《第Ⅰ部》	
10:10～10:50	行政説明 「最近の母子保健を取り巻く状況」 厚生労働省子ども家庭局母子保健課
10:50～12:25	講演・質疑応答 「親と子に寄り添った支援について考える」 首都大学東京健康福祉学部看護学科 教授 安達久美子 氏
12:25～13:35	昼 食
《第Ⅱ部》	
13:35～14:00	情報提供 「健やか親子21×鷹の爪団 みんなで子育て大作戦」 一般社団法人日本家族計画協会
14:00～14:20	事例発表① 「切れ目ない支援をめざして（仮）」 茂原市保健センター
14:20～14:40	事例発表② 「柏市 妊娠・子育て相談センターの活動について」 柏市保健所地域保健課
14:40～14:50	休憩
14:50～15:10	事例発表③ 「千葉県母子健康包括支援センターを通じた支援について」 千葉県保健福祉局健康部健康支援課
15:10～15:30	質疑応答
15:30	閉会

送信先：千葉県健康福祉部児童家庭課 母子保健班
担当：保田
FAX：043-224-4085
E-mail：katei3@mz.pref.chiba.lg.jp

※ FAX 送信票は不要です。

※ 申込期限 平成30年9月18日（火）

平成30年度 関東甲信越地区母子保健事業研修会
(10月12日)参加申込書

都・県・市区町村名 _____
所 属 課 所 _____
電 話 番 号 _____
担 当 者 _____

次のとおり研修会への参加を申し込みます。

平成30年 月 日

	職 名	氏 名	職 種	お弁当注文 ※ご希望の方は、 ○を御記入ください。
1				
2				
3				
4				
5				
6				